

同弓屋亭地・牛蹄車跡路泥深シ ■戟東西各林ヲ作ス 独酌悠然来往ヲ閱ス 馬周今日已灰心・頼山陽

弓屋左側にありて諸侯御小休の本陣たり。さるほどに上下の憩ひの間ことごとく備り、庭の仮山に二流の瀑布をしつらひ、池には長大なる鯉をやしなひ花の草木眺めに満て其美観いふばかりなし。古は此街道さみしくして、追分の奴茶屋より旅客を送り来て、強盗ひはぎの難を防ぎしとぞ。今は昼夜に往来絶ず、酒機嫌の花歌に其愁ひをしらざるは、偏に太平の御恩沢といふべし。